

レベル1 れいを見て、うすい字を なぞろう

れい (見本)

↓ もんだいと同じ書き方の 見本です。よく見てね。

クッキーが14こ あります。3人で 同じ数ずつ 分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。わり算の式に書いて求めましょう。

① わり算の式に書く

$$14 \div 3 = 4 \text{ あまり } 2$$

② 言葉で説明する (文しょうで)

まず、3のだんの九九で、14の中に3は4回入るので、1人分は4こです。つぎに、のこった2こがあまりで、わる数の3より小さいのでよいです。だから、1人分は4こで、2こあまります。

③ たしかめる (かけ算にもどす)

$$4 \times 3 + 2 = 14. \text{ ぜんぶの } 14\text{こに もどった。}$$

答え (1人分は 4こ、2こあまる。)

もんだい

あめが23こ あります。4人で 同じ数ずつ 分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。

わり算の式に書いて求め、答えとあまりのわけを言葉で説明しましょう。

① わり算の式に書く

$$23 \div 4 = 5 \text{ あまり } 3$$

② 言葉で説明する (文しょうで)

まず、4のだんの九九で、23の中に4は5回入るので、1人分は5こです。つぎに、のこった3こがあまりで、わる数の4より小さいのでよいです。だから、1人分は5こで、3こあまります。

③ たしかめる (かけ算にもどす)

$$5 \times 4 + 3 = 23. \text{ ぜんぶの } 23\text{こに もどった。}$$

答え (1人分は 5こ、3こあまる。)

レベル2 れいを見て、ヒントを使って説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

クッキーが14こあります。3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。わり算の式に書いて求めましょう。

① わり算の式に書く

$$14 \div 3 = 4 \text{ あまり } 2$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、3のだんの九九で、14の中に3は4回入るので、1人分は4こです。つぎに、のこった2こがあまりで、わる数の3より小さいのでよいです。だから、1人分は4こで、2こあまります。

③ たしかめる（かけ算にもどす）

$$4 \times 3 + 2 = 14. \text{ ぜんぶの } 14 \text{ こに もどった。}$$

答え（1人分は4こ、2こあまる。）

もんだい

あめが23こあります。4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。

わり算の式に書いて求め、答えとあまりのわけを言葉で説明しましょう。

① わり算の式に書く

$$23 \div 4 = \square \text{ あまり } \square$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

「まず、」「つぎに、」「だから、」をつかって、文しょうで書こう。

③ たしかめる（かけ算にもどす）

1人分 × 人数 + あまり が、ぜんぶの数になるか見なおす。

答え（ ）

レベル3 れいを見て、式と言葉で説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

クッキーが14こあります。3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。わり算の式に書いて求めましょう。

① わり算の式に書く

$$14 \div 3 = 4 \text{ あまり } 2$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、3のだんの九九で、14の中に3は4回入るので、1人分は4こです。つぎに、のこった2こがあまりで、わる数の3より小さいのでよいです。だから、1人分は4こで、2こあまります。

③ たしかめる（かけ算にもどす）

$$4 \times 3 + 2 = 14. \text{ ぜんぶの } 14 \text{ こに もどった。}$$

答え（1人分は4こ、2こあまる。）

もんだい

あめが23こあります。4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。

わり算の式に書いて求め、答えとあまりのわけを言葉で説明しましょう。

① わり算の式に書く

② 言葉で説明する（文しょうで）

「まず、」「つぎに、」「だから、」をつかって、文しょうで書こう。

③ たしかめる（かけ算にもどす）

1人分 × 人数 + あまり が、ぜんぶの数になるか見なおす。

答え（ ）

レベル4 れいを見て、自分の力で説明しよう

れい（見本）

↓ もんだいと同じ書き方の見本です。よく見てね。

クッキーが14こあります。3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。わり算の式に書いて求めましょう。

① わり算の式に書く

$$14 \div 3 = 4 \text{ あまり } 2$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、3のだんの九九で、14の中に3は4回入るので、1人分は4こです。つぎに、のこった2こがあまりで、わる数の3より小さいのでよいです。だから、1人分は4こで、2こあまります。

③ たしかめる（かけ算にもどす）

$$4 \times 3 + 2 = 14. \text{ ぜんぶの } 14 \text{ こに もどった。}$$

答え（1人分は4こ、2こあまる。）

もんだい

あめが23こあります。4人で同じ数ずつ分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。

わり算の式に書いて求め、答えとあまりのわけを言葉で説明しましょう。

① わり算の式に書く

② 言葉で説明する（文しょうで）

③ たしかめる（かけ算にもどす）

1人分 × 人数 + あまり が、ぜんぶの数になるか見なおす。

答え（ ）

解答 解答・指導のポイント

もんだいの答え

あめが 23こ あります。4人で 同じ数ずつ 分けます。1人分は何こで、何こあまるでしょうか。

① わり算の式に書く

$$23 \div 4 = 5 \text{ あまり } 3$$

② 言葉で説明する（文しょうで）

まず、4のだんの九九で、23の中に4は5回入るので、1人分は5こです。つぎに、のこった3こがあまりで、わる数の4より小さいのでよいです。だから、1人分は5こで、3こあまります。

③ たしかめる（かけ算にもどす）

$$5 \times 4 + 3 = 23. \text{ ぜんぶの } 23\text{こに もどった。}$$

答え（1人分は 5こ、3こあまる。）

指導のポイント

ねらい：同じ数ずつ分けてあまりが出る場面を、わり算の式に書いて、答えとあまりの求め方を式と言葉で説明する

評価規準：思考・判断・表現：あまりのあるわり算の場面を式に表し、あまりはわる数より小さくなることに着目して、答えとあまりの求め方を式や言葉を用いて説明することができる。

学習指導要領：小学校学習指導要領（算数）第3学年 A 数と計算（4）除法 — 余りのある場合の除法の意味を理解し、余りは除数より小さくなるように商を定めること。

レベルの使い方：到達目標は全レベル共通。子どもが自分に合うレベルを選ぶ。どのレベルも左の「れい」と同じ書き方で右の「もんだい」ととく。レベル1＝なぞる／2＝ヒント多め／3＝ヒント少なめ／4＝自分の力で。